

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：3月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●4月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

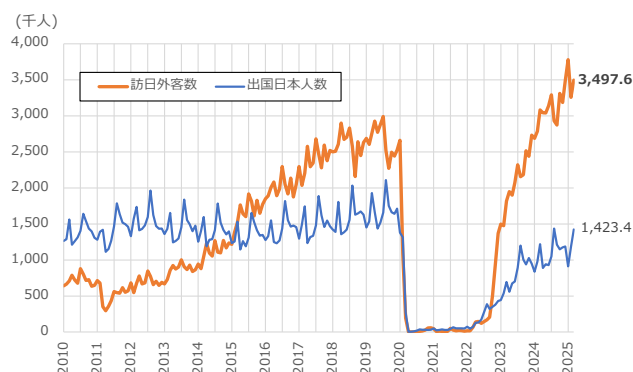
▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、**3月の訪日外客総数(推計値)は349万7,600人**であった(前年同月比+13.5%)。桜の開花シーズンに入り訪日旅行需要が高まった影響もあり、**3月として過去最高値を更新した**。また、同月の出国日本人数は142万3,400人(同+16.7%)、2カ月連続で100万人超の水準となった。なお、2019年同月比では-26.2%で、減少幅は前月(同-23.0%)から拡大しており、アウトバウンド需要の回復は依然遅れている。**1-3月期の訪日外客数は1,053万7,329人となり、四半期ベースで初めて1,000万人を突破した**。前年同期比+23.1%と13四半期連続の増加だが、10-12月期(同+29.9%)から増加幅は縮小した。一方、同期の出国日本人数は351万6,760人であった(同+15.8%)。

▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、**3月は韓国が69万1,700人(前年同月比+4.3%)と最多**であった。次いで中国が66万1,700人(同+46.2%)、台湾が52万2,900人(同+7.9%)、米国が34万2,800人(同+18.2%)、香港が20万8,400人(同-9.9%)と続く。なお、**米国、カナダ、ドイツ、インド等が単月として過去最高値を更新した**。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、1月は378万1,629人**となった(前年同月比+40.7%)。うち、**観光客は345万5,149人となり、過去最高値を更新した**(同+44.8%)。また、**その他客は24万1,704人(同+13.4%)、商用客は8万4,776人(同-4.5%)**であった。

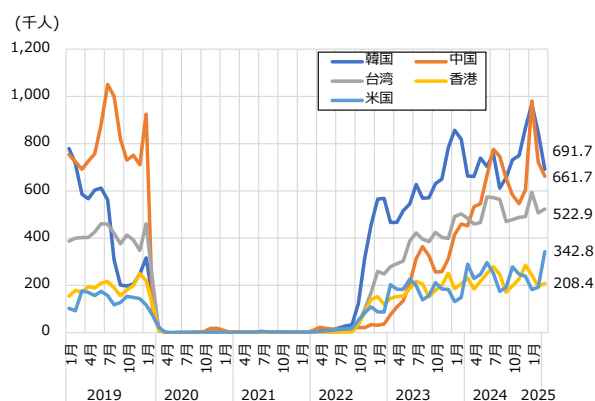
▶大阪・関西万博が開幕してから1カ月が経過し、関西自治体による観光誘客政策が積極的に展開されている。今回は鳥取県の事例を取り上げてみよう(前回徳島県)。**鳥取県では、県全体をパビリオンに見立てた誘客プログラム「とっとりリアル・パビリオン」を実施している**(詳細はURLを参照<https://tottoreal-pavilion.jp/>)。具体的な施策内容としては、(1)万博会場の鳥取県ゾーンに来場した人へ「おもて梨パスポート」の配布、(2)同プログラムをテーマにした万博期間中の個人型旅行商品「まるごとテーマパーク!鳥取県へでかけよう!」の発売である。本プログラムの特徴としては、万博来場者の鳥取県への周遊を促進し、旅行消費の拡大を意図していることである。このような誘客政策の取組で**万博来場者の周遊が促進されれば、より一層地域での消費拡大に繋がる**ことが期待できよう。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



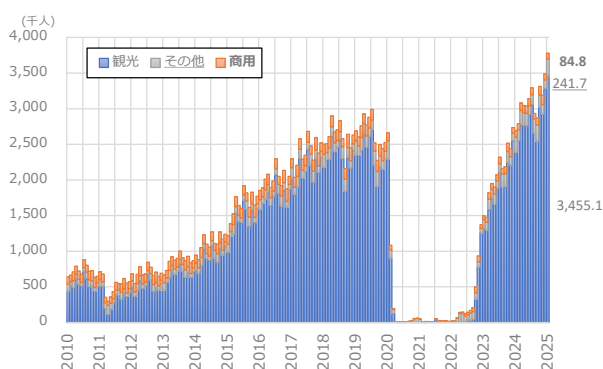
注：2023年まで確定値、24年、25年1月は暫定値、25年2-3月は推計値
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



注：なお、TOP5の国・地域は値を表示している。
出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成。

図3 目的別訪日外客数推移



注：目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

出所：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」より筆者作成

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

● 3月関西の財貨・サービス貿易及び2月のサービス産業動向

▶ 関西3月の輸出額は前年同月比+4.8%と6カ月連続で増加した(前月:同+10.7%)。また、輸入額は同+13.1%と2カ月ぶりの増加となった(前月:同-4.3%)。関西の貿易収支は+4,162億円と2カ月連続の黒字だが、黒字幅は同-18.4%縮小した(前月:同+123.2%)(図4)。結果、1-3月期の貿易収支は+5,631億円と10四半期連続の黒字だが、黒字幅は前年同期比-14.6%縮小した(10-12月期:同+20.5%)。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西3月の対中輸出は前年同月比-1.3%と2カ月ぶりに減少した(前月:同+18.0%)。輸出減に寄与したのは半導体等製造装置や映像機器等であった。一方、対中輸入は同+16.6%と2カ月ぶりの増加(前月:同-10.9%)。輸入増に寄与したのは通信機や有機化合物等であった。1-3月期の対中輸出は前年同期比+1.2%と2四半期ぶりに増加(前期:同-1.1%)。一方、対中輸入は同+9.5%と4四半期連続で増加し、前期から増加幅は拡大した(同+6.0%)。

▶ 3月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は85万2,180人となった(前年同月比+10.3%)。桜の開花シーズンに入り訪日旅行需要が高まった影響が表れた。また、同月の日本人出国者数は29万3,346人であった(図6)。同+20.9%と増加幅は前月(同+26.0%)から縮小。なお、2019年同月比では-27.5%となり、アウトバウンド需要は依然低迷している。1-3月期の外国人入国者数は263万4,771人となった(前年同期比+20.4%)。6四半期連続で200万人超えが続いており、外国人入国者数は堅調に推移している。なお、同期の日本人出国者数は69万1,101人であった(同+19.9%)。

▶ 2月のサービス業の活動は一進一退で推移している(図7)。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2019-20年平均=100)をみれば、2月は104.2で前月比0.0%と横ばいとなった(前月:同+1.4%)。なお、2月データ公表時に基準年がコロナ禍の影響を平準化した2019-20年=100に変更された。また、対面型サービス業指数*は106.4で同-0.1%小幅低下し、4カ月ぶりのマイナス(前月:同+1.6%)。うち、運輸業、郵便業(同-2.7%、3カ月ぶり)や学習支援業(同-1.8%、3カ月ぶり)が低下に寄与した。

▶ 観光関連指数**(季節調整済み:2019-20年平均=100)は(図7)、116.3と前月比+2.4%上昇し、4カ月連続のプラス(前月:同+1.7%)。うち、劇場・興行団(同+21.1%、3カ月連続)や公園、遊園地・テーマパーク(同+8.1%、2カ月連続)が上昇に寄与した。

*対面型サービス業は、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「学習支援業」及び「医療、福祉」を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、「旅客運送業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「旅行業」、「映画館」、「劇場・興行団」及び「公園、遊園地・テーマパーク」の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

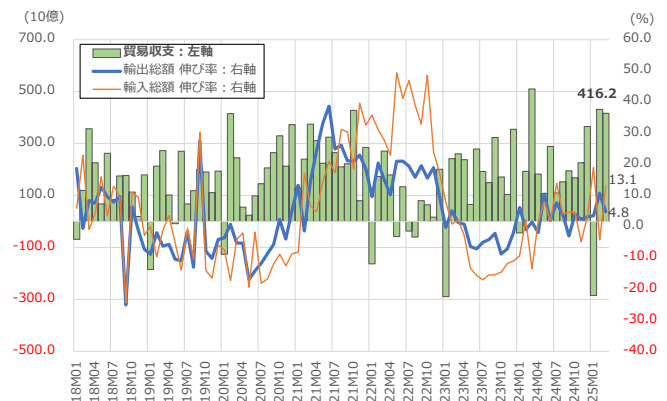
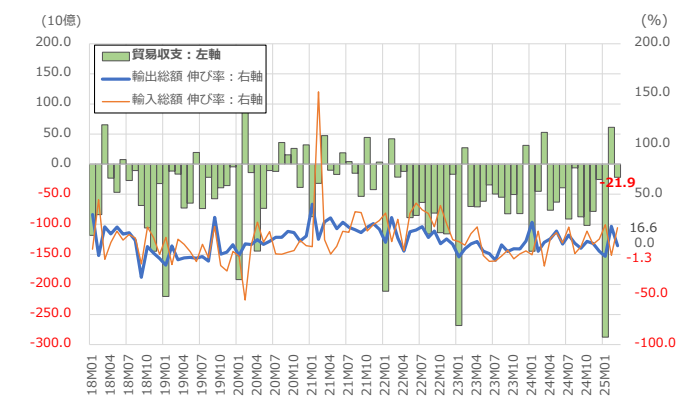
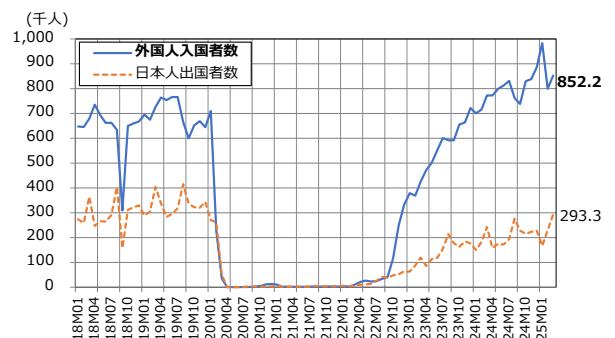


図5 関西 対中貿易の推移



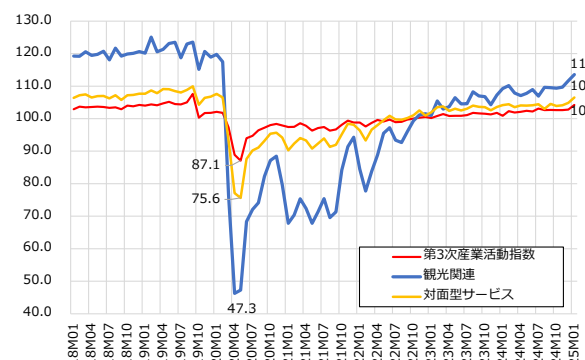
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2025年3月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2019-20年平均=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●1月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、1月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は**10,132.1 千人泊**であった(表1)。前年同月比では**+12.1%**と2021年11月以降増加しており、増加幅は2カ月連続で拡大(前月：同+4.4%)。

▶日本人延べ宿泊者数は**6,514.9 千人泊**となった。前年同月比**+4.6%**と2カ月連続で増加した(前月：同+1.9%)(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,453.9千人泊、京都府1,122.8千人泊、兵庫県1,053.3千人泊、三重県660.8千人泊、滋賀県277.8千人泊、和歌山県275.1千人泊、福井県218.9千人泊、徳島県156.4千人泊、奈良県149.4千人泊、鳥取県146.5千人泊であった。前年同月比でみると、大阪府(同+6.7%、2カ月連続)、福井県(同+24.2%、6カ月連続)、兵庫県(同+4.2%、8カ月連続)等が、日本人延べ宿泊者の増加に寄与した。なお、京都府は同-2.0%と20カ月連続の減少だが、減少幅は前月(同-17.9%)から縮小した。

▶外国人延べ宿泊者数は**3,617.1 千人泊**となった(表1及び図9)。春節休暇(1月28日～2月4日)の影響もあり、前年同月比**+28.8%**と増加幅は前月(同+9.8%)から拡大した。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,164.8千人泊、京都府1,165.0千人泊、兵庫県140.4千人泊、和歌山県39.7千人泊、奈良県28.0千人泊、滋賀県22.4千人泊、三重県19.0千人泊、徳島県14.2千人泊、鳥取県13.1千人泊、福井県10.5千人泊であった。前年同月比をみれば、大阪府(同+23.3%、36カ月連続)、京都府(同+34.8%、34カ月連続)、兵庫県(同+54.5%、30カ月連続)等、9府県が外国人延べ宿泊者の増加に寄与した。

▶なお、宿泊料金と賃金との交易条件(現金給与総額/宿泊料金：2019年=100)をみれば、2025年3月は66.3となった。前年同月比-4.4%と24カ月連続で悪化しており、日本人宿泊者にとって厳しい状況が依然続いている(図10)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

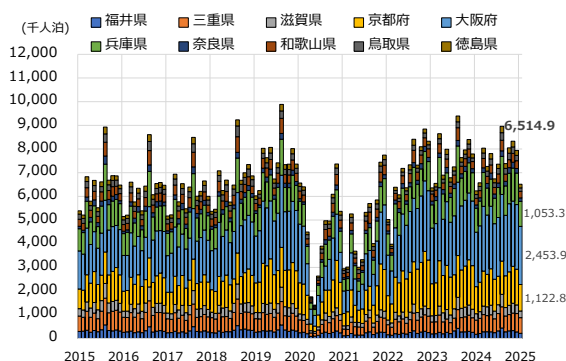


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

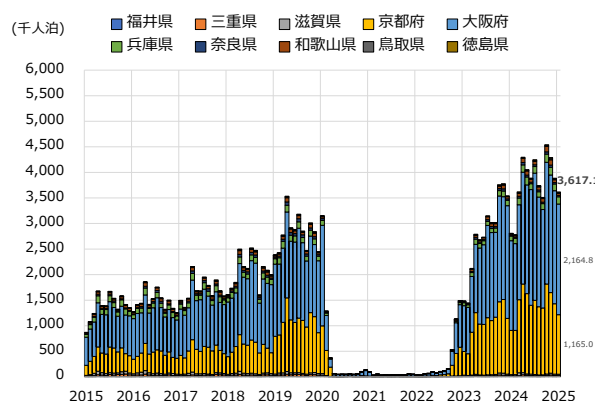
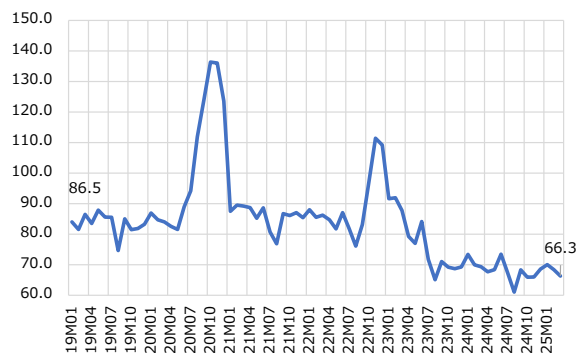


図10 宿泊料金と賃金との交易条件
(現金給与総額/宿泊料金)



注：宿泊料金(消費者物価)と賃金(現金給与総額)の相対的関係をみている。
2019年平均を100。

出所：総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計調査』

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：1月

	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前月(%)
2025年1月									
福井県	229.4	25.4	6.3	218.9	24.2	6.6	10.5	55.1	-7.7
三重県	679.8	11.1	24.9	660.8	10.6	26.0	19.0	31.8	-5.4
滋賀県	300.2	2.5	1.0	277.8	2.8	0.7	22.4	-0.4	5.2
京都府	2,287.8	13.8	-1.4	1,122.8	-2.0	-17.9	1,165.0	34.8	26.5
大阪府	4,618.7	13.9	0.1	2,453.9	6.7	0.0	2,164.8	23.3	0.2
兵庫県	1,193.8	8.4	12.4	1,053.3	4.2	11.2	140.4	54.5	25.2
奈良県	177.5	12.4	11.1	149.4	5.9	12.8	28.0	66.0	1.0
和歌山県	314.8	4.4	11.7	275.1	-1.0	8.9	39.7	68.2	32.1
鳥取県	159.6	-3.8	51.8	146.5	-7.3	49.7	13.1	66.2	93.6
徳島県	170.6	6.1	28.9	156.4	1.3	26.1	14.2	123.4	82.8
関西2府4県	8,892.7	12.3	1.9	5,332.4	3.6	-2.2	3,560.3	28.4	9.6
関西2府8県	10,132.1	12.1	4.4	6,514.9	4.6	1.9	3,617.1	28.8	9.8
全国	48,878.3	7.1	4.0	33,728.9	-2.0	-1.9	15,149.4	34.8	22.9

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している。

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8～9及び表1)より筆者作成

トピックス 3

● 2025 年 1-3 月期訪日外国人消費の動向

▶観光庁によれば、**2025 年 1-3 月期の訪日外国人消費額**(速報、全目的ベース)は**2 兆 2,720 億円**となり(図 11)、**2 四半期連続で 2 兆円を超える水準となった**(10-12 月期: 2 兆 3,108 億円)。円安基調が続いていることに加え、1 人当たりの消費単価が着実に増加している影響が表れた。**前年同期比+28.4%**と**5 四半期連続で 2 桁の伸び**が続いているが、**増加幅は前期(同+37.6%)から縮小した**。

▶**1-3 月期の訪日外国人消費のトップ 5** を国・地域別にみれば(図 12)、中国が 5,443 億円(前年同期比+52.3%)と最多であった。次いで、台湾が 3,168 億円(同+21.6%)、韓国が 2,824 億円(同+16.9%)、米国が 2,188 億円(同+29.7%)、香港が 1,534 億円(同-3.3%)と続く。

▶**一般客 1 人 1 泊当たり旅行支出**(全目的)は 2 万 4,602 円となり、前年同期比+10.2%増加した(10-12 月期: 同+5.8%)。国・地域別にみれば、香港が 3 万 8,892 円(同+5.2%)と最も高い。次いで、シンガポールが 3 万 3,808 円(同-0.9%)、タイが 3 万 2,364 円(同+23.9%)、台湾が 3 万 2,228 円(同+11.0%)、中国が 3 万 1,110 円(同+28.4%)となっている(表 2)。

▶**1-3 月期の 1 人 1 泊当たり旅行支出を費目別**でみれば(表 3)、宿泊費が 8,242 円(同+13.8%)と最も多く、次いで買物代が 7,165 円(同+9.7%)、飲食費が 5,557 円(同+15.5%)、交通費が 2,471 円(同+4.9%)、娯楽等サービス費が 1,149 円(同-16.6%)と続いている。なお、平均泊数は 9.0 泊と、前年同期差 -0.4 泊小幅減少した。

*トピックス 3 は四半期ごとの掲載である。

**「全目的」とは、観光・レジャー目的以外に、業務、留学、親族・知人訪問等の目的の旅行者を含む。ただし、1 年未満の滞在者が対象である。

図 11 訪日外国人消費額の推移

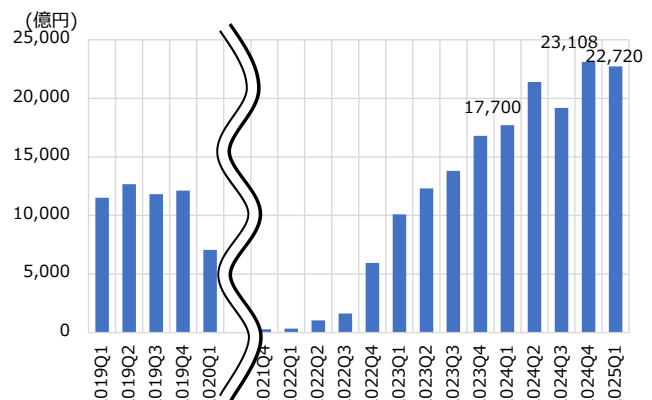
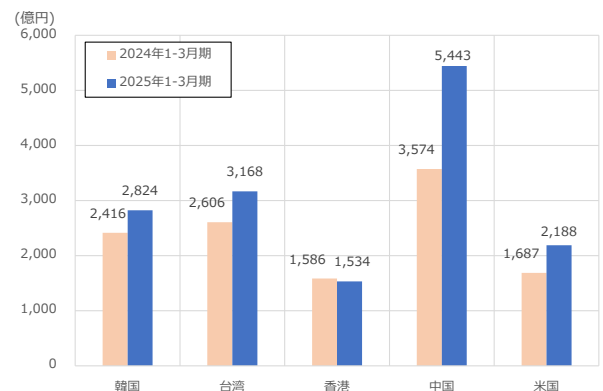


図 12 訪日外国人消費額の上位 5 国・地域 : 2025 年 1-3 月期



注:「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加えビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。「クルーズ客」は船舶観光上陸許可者。2024 年までは確報、25 年 1-3 月期は速報。

出所:観光庁『インバウンド消費動向調査』より作成(図 11 も同様)

表 2 国・地域別一般客 1 人当たり旅行支出(全目的) : 2025 年 1-3 月期

国・地域	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム
2024年1-3月期(円/人)	22,327	20,995	29,024	36,953	24,233	26,120	34,108	20,827	26,471	13,403	5,724
2025年1-3月期(円/人)	24,602	26,910	32,228	38,892	31,110	32,364	33,808	26,512	14,385	12,175	6,033
前年同期比(%)	+10.2	+28.2	+11.0	+5.2	+28.4	+23.9	-0.9	+27.3	-45.7	-9.2	+5.4
国・地域	インド	英国	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	ロシア	米国	カナダ	オーストラリア	その他
2024年1-3月期(円/人)	9,742	32,137	16,948	17,179	16,614	20,751	-	24,928	25,279	26,405	18,150
2025年1-3月期(円/人)	7,431	25,356	19,985	20,250	21,559	21,713	22,035	26,407	19,695	26,727	17,696
前年同期比(%)	-23.7	-21.1	+17.9	+17.9	+29.8	+4.6	-	+5.9	-22.1	+1.2	-2.5

表 3 一般客 1 人 1 泊当たり旅行支出(全目的) : 2025 年 1-3 月期

1 人 1 泊当たり旅行支出	総額	費目別						平均泊数(泊)
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	
2024年1-3月期(円/人)	22,327	7,240	4,813	2,355	1,379	6,532	8	9.5
2025年1-3月期(円/人)	24,602	8,242	5,557	2,471	1,149	7,165	18	9.0
前年同期比(%)	+10.2	+13.8	+15.5	+4.9	-16.6	+9.7	+126.2	-0.4

出所:観光庁『インバウンド消費動向調査』より作成。

表 4 2025 年 3 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)
	3月	3月		1月～3月	1月～3月	
総数	3,081,781	3,497,600	13.5	8,558,483	10,537,300	23.1
総数(中国除く)	2,629,256	2,835,900	7.9	7,230,407	8,172,400	13.0
韓国	663,102	691,700	4.3	2,338,703	2,506,100	7.2
中国	452,525	661,700	46.2	1,328,076	2,364,900	78.1
台湾	484,454	522,900	7.9	1,478,979	1,623,600	9.8
香港	231,373	208,400	-9.9	623,557	647,600	3.9
タイ	131,749	148,200	12.5	323,777	361,800	11.7
シンガポール	61,047	65,300	7.0	132,102	153,300	16.0
マレーシア	41,953	53,100	26.6	134,210	193,000	43.8
インドネシア	37,448	60,600	61.8	116,981	170,800	46.0
フィリピン	78,821	72,300	-8.3	200,814	211,200	5.2
ベトナム	67,475	64,100	-5.0	172,258	188,200	9.3
インド	27,206	33,000	21.3	49,779	62,100	24.8
豪州	82,781	84,800	2.4	252,886	313,800	24.1
米国	290,075	342,800	18.2	570,649	716,900	25.6
カナダ	57,779	68,100	17.9	123,346	154,900	25.6
メキシコ	15,472	14,600	-5.6	29,961	34,700	15.8
英国	56,450	58,100	2.9	102,136	115,900	13.5
フランス	34,685	36,500	5.2	71,397	79,500	11.3
ドイツ	47,553	48,100	1.2	72,817	79,400	9.0
イタリア	24,394	25,500	4.5	38,828	45,400	16.9
スペイン	16,797	17,800	6.0	27,889	35,000	25.5
ロシア	10,579	18,800	77.7	16,728	29,400	75.8
北欧地域	18,075	16,600	-8.2	34,433	37,800	9.8
中東地域	11,876	24,100	102.9	23,986	46,800	95.1
その他	138,112	160,500	16.2	294,191	365,200	24.1

表 5 2025 年 1 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)
	1月	1月		1月	1月		1月	1月		1月	1月	
総数	2,688,478	3,781,629	40.7	2,386,640	3,455,149	44.8	88,781	84,776	-4.5	213,057	241,704	13.4
韓国	857,039	967,100	12.8	821,971	932,312	13.4	17,086	13,498	-21.0	17,982	21,290	18.4
中国	416,088	980,520	135.7	325,521	874,723	168.7	19,967	20,783	4.1	70,600	85,014	20.4
台湾	492,288	593,431	20.5	474,810	577,054	21.5	7,142	5,941	-16.8	10,336	10,436	1.0
香港	186,300	243,687	30.8	182,289	239,357	31.3	1,770	1,789	1.1	2,241	2,541	13.4
タイ	90,585	96,811	6.9	85,460	91,227	6.7	1,950	1,952	0.1	3,175	3,632	14.4
シンガポール	34,140	45,707	33.9	31,972	43,790	37.0	1,717	1,432	-16.6	451	485	7.5
マレーシア	32,079	75,003	133.8	29,644	72,822	145.7	1,183	941	-20.5	1,252	1,240	-1.0
インドネシア	41,287	63,230	53.1	31,029	50,861	63.9	1,059	976	-7.8	9,199	11,393	23.9
フィリピン	56,776	72,185	27.1	43,193	55,142	27.7	3,872	5,263	35.9	9,711	11,780	21.3
ベトナム	44,602	50,415	13.0	6,360	15,177	138.6	2,253	2,003	-11.1	35,989	33,235	-7.7
インド	12,608	16,189	28.4	3,248	5,658	74.2	3,077	3,523	14.5	6,283	7,008	11.5
豪州	103,604	140,185	35.3	101,030	137,392	36.0	1,297	1,334	2.9	1,277	1,459	14.3
米国	131,855	182,556	38.5	113,870	164,271	44.3	9,092	8,683	-4.5	8,893	9,602	8.0
カナダ	31,672	42,301	33.6	29,571	40,093	35.6	803	797	-0.7	1,298	1,411	8.7
メキシコ	6,805	9,332	37.1	6,128	8,626	40.8	241	184	-23.7	436	522	19.7
英国	19,809	26,378	33.2	15,157	21,542	42.1	2,294	2,110	-8.0	2,358	2,726	15.6
フランス	14,444	16,515	14.3	10,254	12,430	21.2	1,760	1,426	-19.0	2,430	2,659	9.4
ドイツ	10,402	12,737	22.4	6,755	9,341	38.3	2,257	1,913	-15.2	1,390	1,483	6.7
イタリア	6,879	8,792	27.8	5,028	6,936	37.9	912	858	-5.9	939	998	6.3
ロシア	3,242	4,931	52.1	1,901	3,516	85.0	562	494	-12.1	779	921	18.2
スペイン	4,769	7,401	55.2	3,666	6,219	69.6	384	401	4.4	719	781	8.6
中東地域	5,886	11,873	101.7	4,883	10,559	116.2	506	656	29.6	497	658	32.4
その他	85,319	114,350	34.0	52,900	76,101	43.9	7,597	7,819	2.9	24,822	30,430	22.6

注：目的別訪日外客数の定義については、図 3 注参照。
出所：日本政府観光局(JNTO)、2025 年 4 月 16 日付より筆者加工